

# PPP からみた PFI の現状と展望

2008.1.30

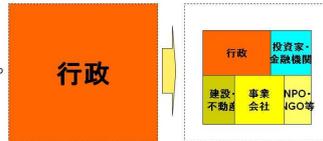
東洋大学大学院経済学研究科公民連携専攻 主任/教授 根本祐二

nemoto@toyonet.toyo.ac.jp

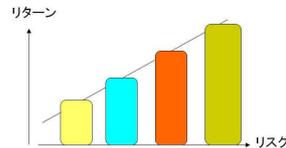
## 1 現代 PPP の世界的な定義

### (1) リスクとリターンの設計

- ・ リスクをもっとも上手に管理できる人が負担する。



- ・ その役割に伴うリスクに見合うリターンを与える必要がある。

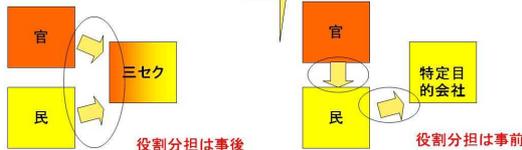


官もリスクを、民にはリターンを！

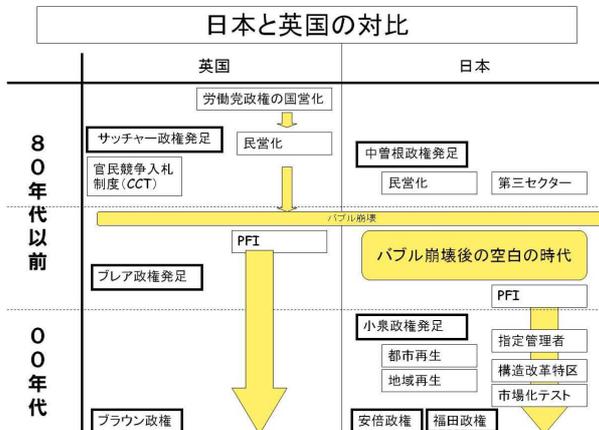
### (2) 契約によるガバナンス

- ・ 三セク
- ・ 事業運営は官+民
- ・ 事業責任は官+民
- ・ **役割分担は事後**
- ・ 手続きは不透明
- ・ 結果として官または民が全面的に負担

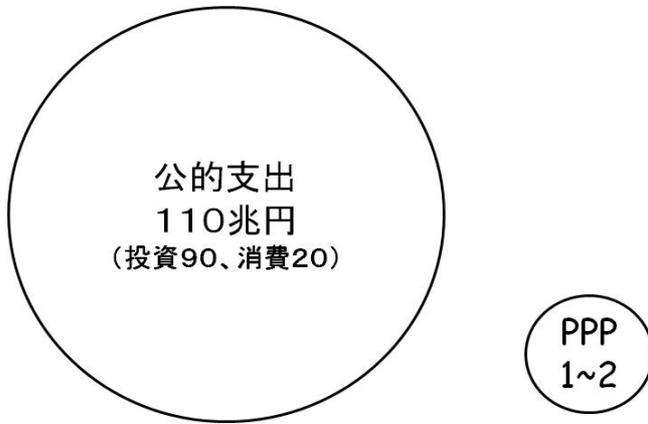
- ・ PPP
- ・ 事業運営は民
- ・ 事業責任は分担
- ・ **役割分担は事前**
- ・ 手続きは透明
- ・ 責任はプロジェクト自身



## 2 我が国における PFI の歴史的な意義 …… PPP へつなく重要な橋渡し



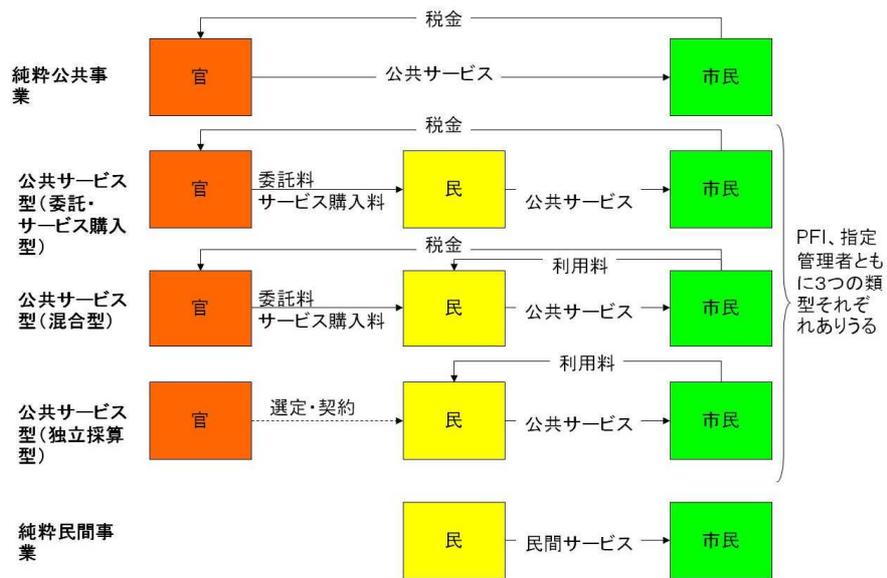
### 3 PPPの市場・・・GDP上の公的支出に比べて1%程度



### 4 PPPの課題

#### (1) 政策決定プロセスを官が独占

民の知恵の出しにくい事業の細分化、必然性に乏しい事業



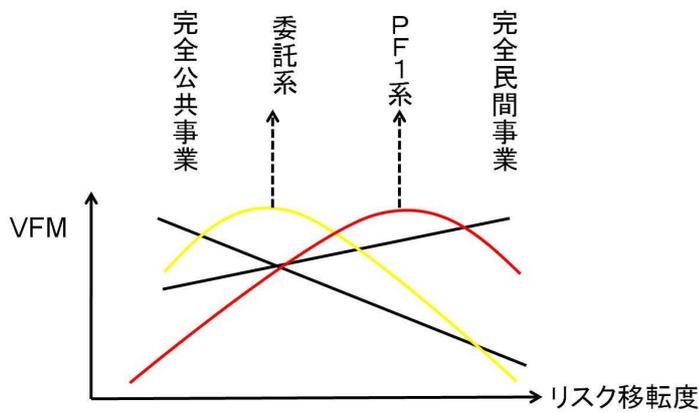
(2) 複雑すぎる制度と制度間バッティング

制度が縦割り、新設でも指定管理者へ流れる傾向

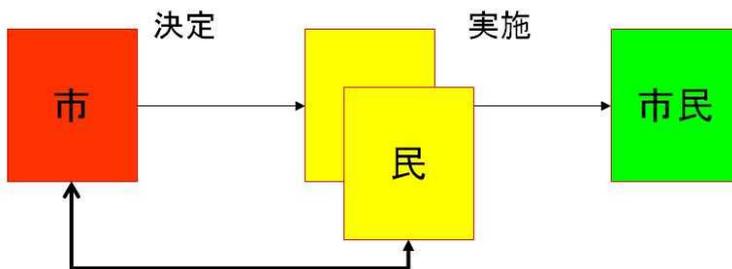


5 課題解決の方向性

(1) 市民参加 (比較 VFM の開示)



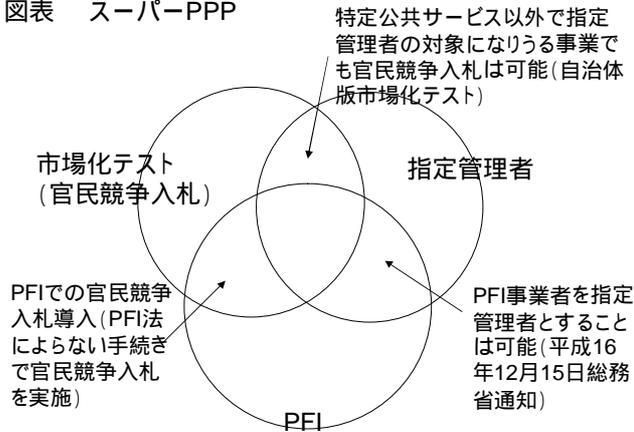
(2) 民間提案 (提案者加点)



提案、提案者加点(加点項目に入れる)  
知的所有権保護上合理的

(3) 制度間融合（PFIでも利用料金制度・官民競争入札を導入、スーパーPPP）

図表 スーパーPPP

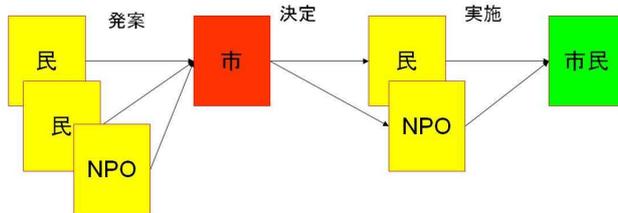


6 参考事例

(1) 我孫子市提案型公共サービス民営化制度

我孫子市提案型公共サービス民営化制度

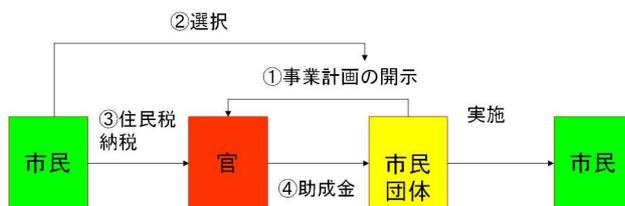
- 全事務事業が対象(初の試み)
- 提案者の知的所有権保護のため随意契約を認める(初の試み)



(2) 市川市1%市民団体支援制度

市川市1%市民団体支援制度

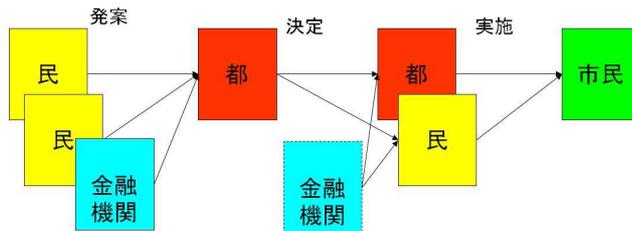
- ・ 市民が指定する市民団体にその市民の住民税の1%を自動的に助成金として支給する(ハンガリー方式)



### (3) 東京都市場化テスト提案募集

#### 東京都市場化テスト提案募集

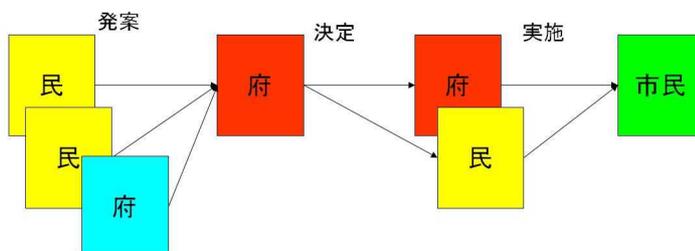
- 全事務事業が対象となる(他例あり)
- 知的所有権は保護されない
- 委託だけでなく、指定管理者、PFIとなりうるものも含む(初の試み)



### (4) 京都府立体育館協働化テスト

#### 京都府協働化テスト

- 府立体育館の官民競争入札(価格要素25%)
- 民が落札した場合は指定管理者に指定
- 結果的には府が落札



### (5) 完全 PPP 都市 サンデイスプリングス市

#### ■ サンデイ・スプリングス

- ジョージア州
- 市の全サービスを一括民営化(除く警察、消防)・・・一括民営化は初の試み
- 建設会社が落札、全責任を負って運営

